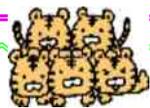


「トライする一年」

五年 佐藤 伶（高岡大目）

私は三年生の時から川とコミュニケーションセンターで手話を習っています。手話教室では単語やぎもんを先生に教えてもらいながら実際に自分でやってみています。手話は手で言葉を表すものですが、表情も使って相手に伝えます。でも去年は、コロナ対抗でマスクをしてやるので表情が伝わりにくいことがあるなと思いました。相手に気持ちを伝えるには、表情も大切だということに気づきました。今年の手話の目標は二つあります。一つ目は、わからないことがあったらたくさん質問して、いっぱい手話を覚えて耳が不自由な人とも会話ができるようになることです。二つ目は、表情なども使って、もっと伝わる手話の会話ができるようになることです。

また私は、去年の四月から習字教室に通い始めました。始めた理由は、字がもっときれいになりたいと思ったからです。こう筆の練習で特にならばよかったことは、文字を中心に書くことと、えんぴつを回して均等な文字の太さにする事です。習字の先月の課題の「助けあい」では「前よりも太い線を書くように」と先生に言われました。教室に通うようになって、文字の一つ一つを考えながら書くことや、先生のアドバイスを聞いて一画一画を丁寧に書くことを学びました。今年の手話の目標は、筆使いをマスターして級を上げることです。今年とはとらななので、なにごとにもチャレンジ、トライしていきたいです。



「笑顔で過す」

兒玉 亮介（稲岡・個人加入）

今年で36歳を迎えます。現在、妻、子ども三人の五人家族です。結婚してから早いもので八年が経ちました。結婚式で話した“笑顔の絶えない家庭”が一度も絶えたことはありません（笑）。それも偏に妻のおかげです。家事や子どもの学校、保育園、幼稚園の対応等、上げればきりがありません。いつも嫌な顔しても…（笑）家族を第一に考えてくれる妻に本当に感謝しています。ありがとうございます。

また、妻の両親にはお世話になりっぱなしです。一緒に協力して子育てしてもらっているおかげで、子どもたちも素直にのびのびと育ってくれています。川跡に住んで七年経ちますが、本当に子育てしやすい町だと感じています。川跡コミセンでは子どもたちの為に行事や習い事等なかなか体験できないようなことを地域で計画してくださっています。沢山の方に温かく見守っていただいていること、感謝しております。子どもたちも地域の方によく声を掛けていただくのも親しみを持っています。

前年度、新しくコミセン専門部の「かわと未来部」が創設されました。私は部長を務めています。未来を担う子どもたちの為に、私たち親世代が川跡の良さを伝え、真っ直ぐのびのびと健やかに成長できるように、見守り支えていきたいと思っています。

小さい頃、夏にはキャンプ、冬にはスキーなど両親のおかげで沢山の経験ができました。今後は私達の世代が率先して地域の方に協力していただきながら色々な体験を子どもたちにさせてやりたいと思います。

この川跡に来て子ども幼稚園、保育園、小学校で沢山の方に会いました。一期一会の縁を大切に感謝の気持ちを忘れず、家族と日々笑顔で過ごしていきたいです。

今年も“笑顔で楽しく”をモットーに色々なことにトライしていきたいです。

「長年培ってきた生け花に心を馳せて」

華道家元池坊 出雲支部 華道教授

大坪 昌三（高岡旭）

明けましておめでとうございます。川跡地区の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

私も知らぬ間に八十代の年男を迎えておりました。

昨年は出雲市青少年育成市民会議会長賞を、十三年間に亘り小学生の生け花教室を開催したことにより受賞いたしました。有難うございました。

池坊の家元は京都にあり、紫雲山頂法寺という六角堂のお寺です。草創は五八七年、聖徳太子で持仏如意輪観世音を本尊として祀られています。この境内の中に二棟の大きなビルがあり、池坊中央研修学院という朝から夕まで花だけを研修する教室があります。初等科A・B、専門科A・B、特別科、総合特別科があり、私は入学の時には総華監になっていましたので、初等科をとび超え専門科に入学し、総合特別科立花教室まで十一年間通いました。

平成二十年頃でしたでしょうか。家元から、子ども達に花を教えるように要請があり、出雲三中に行きましたが、校長先生は、クラブ活動にあてる教室もなく、第一生徒たちを安全に家までどうして届けるのかと云われ返事ができませんでした。当時児童生徒達の誘拐、殺人事件がテレビや新聞によく載っていた時代でした。小学校でも同じことを言われるだろうな、とコミセンの坂本チーフに相談したら、「小学校へよく行くから私から話してみたいあげます」と云って頂き、今の形が実現しました。

坂本様にはほんとうに感謝しております。子ども達に花を愛するやさしい心に育ってほしいとの願いを持って教えております。

私も八十を過ぎ体力も落ち、物忘れも多くなり怠け心が出るようになってきました。しかし、「花」となると体がシャキッと、目がパチッと開きます。これから先どこまで活動できるかわかりませんが、自分の気持ちでは九十歳まで花を続けようと思っております。

どうか今年もよろしくお願い申し上げます。

